

経営管理 ハボロネ 平成25年度4次隊

JICA 平成 25 年度 4 次隊、中森 晋(なかもり すずむ)です。ボツワナの首都ハボロネに、2014 年 3 月から 2 年間の任期でシニアボランティアとして派遣されました。職種は経営管理で、民間企業の生産性向上を支援する業務に携わっています。

私は日本では、エレクトロニクス関連のメーカーを何とか定年退職し、その後、国際貢献に少しでも役立てればとの思いで、2012 年 9 月-2013 年 3 月までの 6 か月間中東ヨルダンに JICA 短期ボランティアとして派遣され、20 社程の民間企業を訪問し、カイゼンの啓蒙に努めました。今回は、少し長めの派遣になりますが、短期の経験を活かして、活動を進めています。

・ボランティア活動について



ボツワナは、1966 年の独立直後に世界有数のダイヤモンド鉱床が発見され、その輸出で経済が成り立っています。日本の約 38 万 km²に対し、ボツワナは約 60 万 km²の大きさですが、人口は 200 万人と少なめです。この市場規模の為、国営企業を除けば、大きな民間企業が育っていません。国はダイヤモンド依存に危機感を感じ、1990 年以降、シンガポールやマレーシアの生産性向上活動を手本に産業育成に躍起となっています。ダイヤモンド以外に資源のない国ですので、製造業としては、原材料を輸入して加工して市場に供給する業態が主ですが、国内の市場規模の小ささや輸出競争力の無さで苦戦しているようです。私の派遣先は、BOTSWANA NATIONAL PRODUCTIVITY CENTRE (ボツワナ生産性本部:BNPC)で、コンサルタントグループに所属しています。民間企業(多くは中小企業)の生産性向上の支援に、日本企業の生産性向上に非常に貢献したカイゼン活動を、ボツワナに広めるお手伝いをしています。コンサルタント(20 名)の方々の中に、日本やマレーシアおよび南アフリカ共和国でのカイゼンセミナーを受講した経験をお持ちの方々も多くおられます。博士号をお持ちの方や修士課程修了の方も多くおられます。その中で、ボツワナの発展に少しでもお役に立てればと頑張っています。

・現地での生活

職場から提供していただいている自宅から、主要道路を挟んだ反対側にショッピングモールがあり、歩いて 5 分もかからず便利です。モールには、食料品スーパーが 3 軒入っており、大抵のものは購入できますが、残念ながらお米はインディカ米しか販売しておらず、ジャポニカ米を離れた中国人商店にて購入しています。醤油や出前一丁等も、その中国人商店で購入しています。モールに戻りますが、衣料品スーパーやおしゃれなコーヒーショップも並んでいますが、これらはすべて南アフリカ共和国資本のチエーン店です。

昨年 5 月入居時に電気製品を揃えましたが、エアコン及び電気洗濯機は、少し高目だったですが韓国 SAMSUNG 製を購入しました。衣類乾燥機は、独逸 BOSCH 製を思い切って購入しました。残念ながらどの店に行っても、日本製はありませんでした。

現在、在留邦人は 80 名前後と聞いています。他のアフリカ諸国同様、たくましくもインフラ工事(道路建設、建築工事等)に従事している中国の方々を良く見掛け、在留中国人は 1000 名を優に超えているようです。ハボロネにも中華料理店が数軒あり、時々利用します。美味しいです。食材は、先程の中国人商店で仕入れていると思われます。中国人経営の衣料店や電気店も多く見られ、ボツワナの生活に溶け込んでいます。非常にバイタリティがあると言わざるを得ません。また、南アフリカ共和国もそのようですが、インド人の方々も多く見受けられ、携帯ショップはインド人経営の店が非常に多いです。所謂、華僑や印僑の活躍に圧倒されます。

・余暇の過ごし方

日本ほど祝日は多くはありませんが、3か月に一度程4連休があり、それを利用して、サファリパークや昨年世界遺産に指定されたオカバンゴデルタに出かけました。

また、クリスマスと年末年始をつなげたかたちで、夏休みが2週間程ありましたので、長距離バスの旅に行っていました。およそ24時間かけて、ハボロネからザンビアのルサカまで移動(15,00Km 前後)し、翌日は、また、9時間の長距離バスでマラウイの国境まで行きました。その翌日は、マラウイに入国し、首都リロングウェでゆっくりしました。次の日は、5時間の長距離バスの旅で、マラウイの第2の都市ブランタイヤに移動し、中一日空けて、長距離バスを乗り継いで、ルサカに戻りました。通算で3,000Kmを超えるバス旅行でした。ルサカからは、飛行機でハボロネに戻り、翌日に、飛行機でナミビアのウインドホックに入りました。大西洋まで、長距離バスで往復し、ウインドホックからハボロネに15時間掛けて長距離バスで無事帰着しました。それぞれの国の生活状況・風景が、楽しめて、非常に有意義な時間を過ごしました。



・残り1年

赴任してから間もなく1年になります。日本の製造業で培った知見・経験を、ボツワナの皆様に、適切にお伝えできるように心掛けてまいります。またプライベートでは、連休・夏休みを利用してアフリカをもっと知る旅(多分、飛行機利用)に出かけ、有意義に過ごしたいと思っています。